

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、明るく希望に満ちた元旦を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、お伊勢さんの御遷宮から二年が経過し、観光客の減少などが心配された年でありました。ところが、先進国首脳会議であるG7サミットが、伊勢志摩で開催されるというビッグニュースが飛び込んでまいりました。御遷宮の頃の、この地方の注目度が再び戻ってきた感があります。これに伴いまして、鳥羽市や志摩市へのふるさと納税額も大きく伸びてきており、サミット効果が顕著にあらわれてきております。伊勢志摩サミット開催を千載一遇のチャンスととらえ、様々な情報を国内外へ発信し、知名度の高揚と観光客の増加を目指しているところです。

一方、鳥羽市におきましては、人口の減少という点で、大変厳しい状況にあります。若者の働く場が限られた中で、子育て支援の充実などを行い、何とか人口の流出を防ごうと努力してまいりましたが、十分な効果が出てきませんでした。そこで、本年は「移住・定住」に焦点をあわせ、地方から都市へという人口の流れに抵抗すべく、都市部から鳥羽市への移住を推進してゆきたいと考えております。この新しい取り組みのための組織の編成をすでに開始し、予算面においても特別な配慮をいたします。しかし「移住・定住」は組織と予算だけで成就するものではありません。受け入れる側である私達市民の思いやりや協力がなくともうまくゆきません。その意味で皆様のご協力をお願いするものです。

本年は、神島小中学校の建設、消防の南鳥羽出張所の完成、新船しおさいの就航、そして何よりも伊勢志摩サミットの開催など、嬉しいニュースが待っております。今後、夢と希望を持って、市民一丸となって進んでゆきたいと思っております。今年が市民の皆様にとりまして、ご多幸の一年でありますようお祈りし、年頭のごあいさついたします。



鳥羽市長 木田 久主一

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃は、市議会の活動に対し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年頭に当たり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、本市議会におきましては、昨年の4月26日の統一地方選挙により新体制となりました。新たな思いを持った14名の議員が一人となつて、市民の皆さまの付託に応えるべく取り組んでいきたいと思っております。

今、人口減少・少子高齢化とともに幾つかの課題が浮かびあがってきています。

国は、「地方創生」を最重要課題と掲げ、人口減少の克服と地方創生に向けた長期ビジョンと総合戦略を策定しました。本市も同様に地方版総合戦略として「鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「働く場の創出」「人の交流」「結婚・出産・子育て」「安心した暮らし」の4つの基本目標を掲げ、これらに基づいた施策の展開が進められようとしています。

鳥羽市内各地域には絆があり、助け合いながら、特色ある伝統文化、生業がある町が開けているという地域特性を十分考慮し、市内それぞれの地域の状況をしっかりと認識した中で計画が進められることが大切です。市議会としましても、今まで以上に地域や市民に密着し、課せられた役割と責任を果たしていかなければならないと考えます。このようなことから、市民を代表する意思決定機関として、将来を見据えた舵取りができるよう、全力を尽くしてまいります。

今後一層の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、新年が皆さまにとって実り多き年となりますことを祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



鳥羽市議会議長 浜口 一利

# 謹賀新年